

証券研究関西学連春季セミナー・ディベート大会

本学商学部宮川ゼミが初出場初優勝

2013年6月16日開催

4ブロックのうち3ブロック制覇の圧勝

日本証券業協会が主催する『証券研究関西学連』主催の春季セミナー・ディベート大会において、本学商学部の宮川ゼミナールが初出場し、見事に初優勝を飾りました。大会は4ブロック16チーム合計76名の学生によって争われました。宮川ゼミからは各ブロックに4チームが出場し、並み居る常連校を次々と撃破、結局4ブロックのうち3ブロックを制覇して優勝を決めました。初出場の宮川ゼミが見せた他校を寄せつけない圧倒的な快進撃は、大会関係者から「黒舟襲来」とまで言われ、一気に大会の話題をさらいました。



宮川ゼミ生全員で勝利のガッツポーズ！

まさに市大旋風を巻き起こした一日となりました。

ファイナンスを専門とするロジカル軍団の意地

今大会では「株式上場会社は株主のためのものである。是か非か。」という論題が出され、最大6名構成のチームによる競技ディベートが行われます。宮川ゼミはコーポレートファイナンスを専門とし、毎回活発な討論を中心に進められるゼミです。しかも専門書を読み始める3回生までに徹底してロジカルシンキングを習得します。それだけに今大会は宮川ゼミにとって負けるわけにはいかない戦いでした。しかし、これまでディベート大会出場の経験はなく、ディベートの基本から全員で勉強しました。チームはすべて4回生と3回生の混合チーム。先輩後輩の仲がよく、常に和気あいあいの宮川ゼミですが、今回は「勝ちに行く！」が合言葉です。各チームは研究室と学情を根城にし、宮川先生の熱血指導のもと真剣な討論と文献

調査を繰り返してきました。部活の試合等で大会に参加できないゼミ生もいましたが、彼らも決して手を抜かずに最後の最後まで準備に参加した姿はゼミ生全員の心を打ちました。まさに一致団結した宮川ゼミ全員の勝利でした。

参加した宮川ゼミ生たちのコメント

優勝チームのコメントを紹介します。ゼミ幹として八面六臂の活躍を見せた星野裕成君（4回生）

「優勝チームの名前が呼ばれた瞬間は感極まるものがあった。宮川ゼミの存在感をとどろかせることができた。」

大会で唯一しかも最強の女子チームのリーダーを務めた蔵田美優君（4

回生）「いつもゼミで指導される論理的な主張の仕方を徹底して心がけ、女子チームとして堂々と戦うことができた。後輩達がかんばってくれた。」

松野峻典君（4回生）「後輩達と一緒に悩みながら準備した期間、本番の緊張感、優勝の瞬間、どれも忘れられない思い出となった。大会は自分達を大きく成長させた。チームワークの勝利だ。」



相手チームの主張を次々と論破した女子チーム田中千尋君（3回生）の堂々たる最終弁論。